

平成 21 年 4 月 10 日

各 位

会社名 株式会社鉄人化計画  
代表者名 代表取締役社長 日野 洋一  
東証マザーズ 2404  
問合せ先 常務取締役 浦野 敏男  
管理本部長  
(電話：03-5773-9184)

平成 21 年 8 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異  
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 10 月 15 日に発表しました平成 21 年 8 月期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 8 月期の連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,741	322	293	88
今回実績 (B)	3,616	225	191	74
増減額 (B-A)	△125	△96	△102	△14
増減率 (%)	△3.4	△30.0	△34.8	△16.0
(ご参考：前期実績) 平成 20 年 8 月期中間期	3,558	333	311	15

(2) 通期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,430	662	620	219
今回修正予想 (B)	7,217	445	372	122
増減額 (B-A)	△212	△216	△247	△97
増減率 (%)	△2.9	△32.7	△40.0	△44.3
(ご参考：前期実績) 平成 20 年 8 月期通期	7,114	564	529	118

2. 平成 21 年 8 月期の個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,089	264	245	81
今回実績 (B)	2,976	172	146	74
増減額 (B-A)	△113	△92	△98	△6
増減率 (%)	△3.7	△34.9	△40.2	△8.3
(ご参考：前期実績) 平成 20 年 8 月期中間期	3,073	335	317	33

(2) 通期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	6,219	540	517	185
今回修正予想（B）	6,024	330	275	96
増減額（B－A）	△195	△209	△242	△88
増減率（％）	△3.1	△38.8	△46.8	△47.9
（ご参考：前期実績） 平成 20 年 8 月期通期	6,063	537	516	137

3. 修正の理由

第 2 四半期累計期間においては、世界的な金融不安の深刻化と経済の急激な悪化が国内経済にも影響を及ぼし、不安定な経済情勢となりました。このような経済環境において、当社の主力事業であるカラオケルーム運営事業は、身近なレジャーとして総じて比較的堅調な売上となりましたが、利益面では都市部の一部店舗で景気の影響を大きく受けたこと、不動産物件価格の下落を好機と捉え新規店舗出店計画を前倒しで実施してきたことによるインシャルコストの負担増等で、当初見込みの収益の確保に至りませんでした。

また、まんが喫茶（複合カフェ事業）運営事業において、更なる競争激化により集客が低迷し、業績が影響を受けました。その他の事業につきましては、概ね予定どおりの業績となりました。

通期におきましては、労働環境の悪化による消費マインドの更なる低下が見込まれております。カラオケルーム運営事業におきましては、既存店売上高が 95%程度で推移しておりますが、当期出店の新規店舗が比較的好調な立ち上がりとなっております。なお、新規出店につきましては、景気悪化に伴い優良な店舗候補物件が数多く見受けられることから、当社グループの成長を考慮し、積極的に出店を進めてまいります。

なお、剰余金の配当につきましては、予定どおり、第 2 四半期末、当期末において 1 株につき各 500 円、年間 1,000 円の配当（前期実績：期末配当 750 円）を実施予定であります。

※上記の業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

以 上